

は何れにしても急造或は改造物であるが、消毒用の目的の爲めに作られた物が實に多數にある。

第一圖に示すものは *NEWMAN* の輕便消毒器第三號で、二呎七吋四方高さ五呎三吋の木箱内面には亜鉛板を張り鐵製の臺に載せてある。臺の下には空氣ランプが置かれてある(燃料は石油)蒸氣と熱氣とを任意に箱内に流入し得る様な裝置になつてゐるので、最初の三十分間で殺の蒸殺が済めば、後の三十分は熱氣を送つて濡物を乾かす事が出来る。更に第一圖右圖の様に疊込むで運搬されるので甚だ便利である。

次に第二圖は *Horse-drawn steam sterilizer* の一型で、英米軍隊に盛んに供給された者である。此種の消毒馬車は多種多様の式がある。此れでは消毒室は水平で圓筒形、壁の中には或種の鹽類の溶液が入れてある。華氏百十五度になると蒸氣は之れから發生して室内に入りこむのである。斯くて約卅分で消毒が終ると、戸の下にある瓣を開く、外氣はこゝから侵入して、回旋した管を経て室の床から其内に出る様になつてゐる、管が熱した溶液中を通じてゐるので空氣が室内に出る際には既に熱氣となつてゐる、依つて蒸氣に濕つた品も之れで乾かせられるのである。

Thresh disinfecter mounted on Fode Steam Lorry は二個の消毒室を蒸汽車に積せたのである、之れの便利な點は速度の速い事と、任意の場所に着くと直に蒸氣を室

内に噴出し得る事とである、それは車を馳行させる機關から蒸氣を發生させる様に設計されてゐるからである。以上蒸殺裝置の大體を記したから次は熱殺法について述べる事とする。

(木下周太)

●「兩頭」の蝶

兩頭の蝶と云つても珍らしい畸形でも何でもない。*Thecla* 屬等のシジミテフの類の事である。昆蟲採集家の誰でも知つて居る事であるが、シジミテフの類には後翅の後角の處によく尾の様な突起が附いて居る。突起は一本二本稀に三本もある事があるが、其基部にはよく著しい斑紋があつて、其斑紋の中央に大きな點等がある。それから翅の下面には屢々前後翅を通じて條の様な模様がある。ウラナミシヤミとかトラフシヤミ等は其例であるが此條がよく此後角の斑紋に集中する様な方向を取つて居る。之に反して翅の上面は適常目立たない様な色である。それからかう云ふ蝶が止まると、よく後翅を忙がしそうに上げたり下げたりする。

數年前吾國に來た事のあるモルテンセン氏は吾が國を去つて後、パナマ地方に於て動物の習性を觀察して居る中に、右に述べた様なシジミテフの特性に氣附いた。そして後翅の後角の部分如何にも蝶の頭らしく見える事に注意した。即ち此部分にある斑紋は動物の頭、其中の點は眼、突起は觸角や、下唇鬚の擬ひであつて、翅下面

の條斑は花の瓣にある條等が蜜腺のある處に向つて集つて居るのと同じ様に、他の動物の眼を此似せの頭部へ引きつける用をなす者であらうと考へた。即ち敵の攻撃を此部で受けて、大事な體を安全にする手段であらうと云ふ考へを記したのである。

處が丁度之と同じ様な意見がポールトンの「動物の色」にも出て居る。モルテンセンは然し此事には歸國後始めて氣がついたので、蝶を觀察して居る時分には少しも知らなかつたと云ふ。

ポールトンの此意見に對しては「擬態、淘汰並ダーウィン主義」の著者ビーバーは附會の甚だしい者であると云ふ評を下し此シジミテフの後翅の突起は嘗て翅が今より大きかつた時の名残であらうと云つて居るが、モルテンセンは此説を駁して之こそ却つて附會であると云つて居る。動物學雜誌の讀者は果して何れの説に左袒せられるか。(駒井卓)

●ノガンの捕獲

『鳥』と云へる雜誌に記されたる所によれば、本邦にてノガンを獲しことは極めて稀なるものゝ如ければ、古きことながら報じ置かんか。余は其當事餘りに注意せざりし爲年月を記せざりしが、何れ十數年前の事なりと思ふ、南佐久郡と北佐久郡の境なる中込原と稱する所、原とは云ふものゝ何れも圃地なるが、此邊にて獵師が一

(雜 錄) ○ノガンの捕獲 ○蠶蛹に見出せる三種の壁蝨

羽の珍鳥を得し事あり。之れ即ちノガンなりき、岩村田町標本商古屋氏の手にて剝製せられ、今は中込村郵便局長植松某の有となれり。(大正七、一二三記す)

(小山海太郎)

●蠶蛹に見出せる三種の壁蝨(續)

2. *Canestriniidae, gen et sp.?*

體長〇・七四三ミ、メ、體巾〇・五三ミ、メ、淡黃色。Che-licera は短大從つて Rostrum は長より巾の方廣し。

Adult.					
肢節	Cov.	T. oc.	I. em.	T. b.	Tar.
I	1	1	2	2	4
II	1	1	3	2	7
III	0	0	1	2	4
IV	0	0	0	2	2

體表に Suture を見ず。表皮全體に幾分明なる細溝存す、紡錘形の内部に並行せる襞を有する Expulsory vesicle 存在し腹面に開口す。腹尾背に四本の剛毛後に向つて生じ體長に近し。肢上の各節毛數は表の如し、爪尖端に Sucker を有す。肢の長さは第三第四第二第一の肢順なり。

此の種は前記の種に交りて Adult の一個體を見出せり

3. *Gamasus s.l.*

體長一〇・一ミ、メ、體巾〇・四二ミ、メ、體及肢乳白色、速に走る性あり、Chelicera 細長二節より成り尖端に齒三、可動齒節の齒二あり、Palpi は五節より成り最先端節下面基部にY狀に二又せる一毛在り。體背に四ヶ所 Suture 存在す第三第四肢間の位置にて背側に一對の Stigma 在